

CASBEE-建築(新築)2014年版
チャーム長岡天神新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質			0.40			2.9
Q1 室内環境						2.8
1 音環境		2.6	0.15	2.4	1.00	2.5
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音		3.0	0.40	2.6	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境		2.1	0.35	2.0	1.00	2.0
2.1 室温制御		3.2	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能	<窓>SC=0.375 U=2.81 <外皮>U=1.05	4.0	0.25	3.0	0.43	
3 ソーン別制御性		3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境		3.0	0.25	4.1	1.00	3.5
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率	待合用途:昼光率2.734%、病室用途:昼光率1.436%	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口			-		-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御	カーテン及び庇等により昼光を制御している	2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御	ベッド単位でスイッチにより調整可能	3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.5	1.00	3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	ほぼ全面にF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		2.0	0.30	2.6	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能	病室用途の有効開口面積は居室床面積の1/15以上		-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理		5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視			-		-	
2 喫煙の制御	全館禁煙。	5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能			0.30			3.0
1 機能性		2.5	0.40	4.0	1.00	3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	個室10㎡/床以上		-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00		-	
3 バリアフリー計画		1.0	0.30	2.5	0.40	
1.2 心理性・快適性			-	4.0	0.50	
1 広さ感・景観	病室用途の天井高は2.5m	1.0	1.00	1.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.5	0.30		-	
3 内装計画		3.0	0.50		-	
1.3 維持管理		4.0	0.50		-	
1 維持管理に配慮した設計			-		-	
2 維持管理用機能の確保	受水槽上に営業できる場所がない。		-		-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外ダクトにガルバニウム鋼板を使用	4.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な上位3種類の2種以上にBを使用し、Eは不使用。	5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			

2.4 信頼性			3.2	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	ネットワーク機器に蓄電池を備えている。	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.4	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	1.8	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	共用部: 壁長さ比率=0.23、住居部: 壁長さ比率=0.35	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		2.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30			2.0
2	まちなみ・景観への配慮	敷地外周部に緑化を施し、良好な景観を形成している。	4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.83	4.0	0.20			4.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.76 住宅(専有部) -	4.0	0.50			4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		高効率設備の採用	4.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)							
4 効率的運用			2.0	0.20			2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		1.0	0.50			
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.20			3.0
1.1 節水			3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60			3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	事務室でOAフロアを採用している。	5.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			3.7	0.33			3.7
2 地域環境への配慮			3.5	0.33			3.5
2.1 大気汚染防止		燃焼設備は使用していない。	5.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	適切な量の駐輪スペースを確保している。	4.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制						
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明はない。	5.0	0.70			
2	反光的建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			